

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年6月3日

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長 北村 達也

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、筑後川下流用水管理所が予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

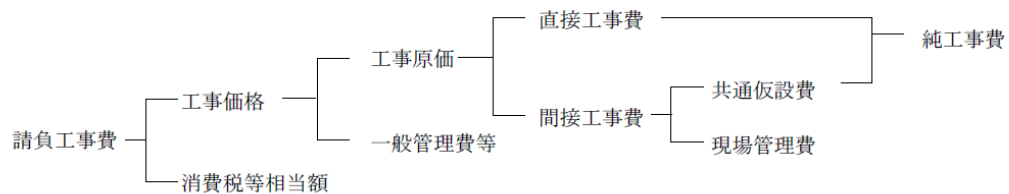
- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は「別紙-2 参考見積記入様式」を参考にしてください。
- (2) 提出期間：令和8年6月17日(水) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所 筑後川下流総合管理所長 宛
なお、送付先は以下のとおりとする。
〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島1063-2
【担当】筑後川下流総合管理所 工務課 山崎
E-mail: jwa_chikugo_karyu@water.go.jp
TEL0942-26-4551 FAX0942-26-1525
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、FAX またはメール（いずれも社印があること）により提出するものとします。
なお、参考見積書の件名は「大詫間幹線水路農地防災対策工事（仮称）」としてください。

(5) 工事費の構成と歩掛見積募集範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（土木工事編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、下記「4. 参考見積内容」を実施する為に必要な技術者の人数を募集します。

(参考) 積算体系



(6) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和8年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

4. 参考見積内容

(1) 基本事項

歩掛参考見積りは、入札目的のものだけではなく、「別紙－1 参考見積仕様書」に示す作業を実施する標準的な歩掛とします。

(2) 目的

「大詫間幹線水路農地防災対策工事（仮称）」を行うために必要な歩掛を募集するものです。

(3) 見積内容

① 見積内容の詳細については、別紙－1のとおりとします。

② 見積もりする員数は、単位数量当たりとします。

③ 見積項目は、別紙－1に示す「作業項目、作業内容」毎に作成するものとします。

(4) 見積有効期限

令和9年（2027年）3月末日とします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和8年6月10日(水)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：質問書提出期限の翌々日（営業日）から見積書提出期限終了まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

参考見積仕様書

第1章 適用

本参考見積仕様書は、独立行政法人水資源機構が管理する大詫間幹線水路のうち、第2章の工事内容に示すクリークの法面整備工事(以下「本工事」という。)に適用します。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、筑後川下流用水総合対策事業に基づき、大詫間幹線水路のクリーク法面整備を実施するものです。

2. 工事場所

佐賀県神埼市地内

3. 工事概要

施工延長	L = 707.0m
施工始点	No. 54 + 48.00
施工終点	No. 61 + 55.00
護岸延長	左岸：81.0m 右岸：79.7m
内 訳	ブロックマット工 A = 9,624m ² 附帯工 1式

4. 水路形状

水路天端幅	L = 35.0m
水路高	H = 3.5m

第3章 見積事項の仕様

第1節 地盤改良工

1-1 安定処理工

1) 固化材散布

- ① 散布は天候に留意し雨天、強風時及び気温5℃以下の時は散布してはいけません。

また、施工時に異常が発生した場合には、直ちに監督職員に報告し指示を受けるものとします。

- ② 改良材の散布は、風による飛散公害と作業員の健康障害等を招かないよう必要な措置を講じなければいけません。
- ③ 散布は、施工条件に合った機種により均一に敷均すものとし、その作業は、迅速に行わなければなりません。

2) 粉体攪拌

- ① 混合は雑物を除去した後、施工条件に合った混合処理能力を持つ機種により所定の深さまで、また、改良土が均質になるまで十分に行わなければいけません。
- ② 混合中は、混合深さの確認を行いながら、混合状態の良否を観察し、混合むらが生じた場合は、再度混合することとします。

1-2 濁水処理対策

- 1) 本工事の施工（地盤改良）に伴い発生する汚濁水は、pH値：10と想定しており中和処理施設（炭酸ガス）により適正な処理を行った後、放流しなければいけません。
- 2) 受注者は、中和処理施設の設置に先立ち、中和処理計画書を作成し、監督職員の承諾を得なければいけません。

なお、中和処理施設の規模は、原水処理容量で次のとおり計画しています。

区間	原水処理容量	備考
No. 5 4 + 4 8. 0 ~ No. 6 1 + 5 5. 0	6 m ³ /hr程度	

- 3) 処理後の排水基準は、pH6.0~7.5とします。
- 4) 処理に当たっては、原水の状況を十分に把握し、適量の薬品を投入しなければいけません。
- 5) 受注者は、仮締切を設置する前に施工範囲周辺水路の原水について、pH値を測定し、監督職員に報告しなければいけません。測定場所については事前に監督職員と協議するものとします。
- 6) 受注者は、工事期間中処理後のpH値の測定を行い、監督職員に報告しなければいけません。

ただし、測定結果で異常値が出た場合には、その都度監督職員に報告し、その処理について協議しなければいけません。

測定項目		測定頻度	備考
pH値	処理前	自動記録装置により測定	期間は地盤改良開始～仮締切撤去まで
	処理後	自動記録装置により測定	

第2節 法覆護岸工

2-1 法面整形

法面整形に当たっては、凹凸がないよう入念に仕上げなければいけません。

2-2 覆土工

1) 水路内覆土

法肩からバックホウを用いて、ブロックマットの法尻に未改良土を覆土します。

2) 法肩覆土

覆土（ブロックマット部）の施工に当たっては、改良土を用いてブロックマットの間隙を充填するものとします。

2-3 コンクリートブロック工

1) コンクリートブロック張り撤去

既設の平ブロック張について、背面土の吸い出しを受けて陥没している箇所について、平ブロックを撤去してください。

第3節 水田復旧工

3-1 水叩き設置

田面排水工の出口には、排水によるブロックマットの洗掘を防止するため、水叩きを設置するものとします。

以上

別紙-2 参考見積記入様式

【作成にあたっての留意事項】

- ・国土交通省が公表している「令和8年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。
- ・歩掛表に記入している職種は参考例です。必要に応じて職種等の追加・削除をお願いします。
- ・諸雑費を計上する場合は、何に要する費用か記載をお願いします。

地盤改良工 安定処理工

1) 固化材散布

15t当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
バックホウ[クローラ型・超ロングアーム・排対型(1次)]	クローラ型超ロング仕様山積0.4(平積0.3)		供用日	
軽油	ハトロール給油		L	
運転手(特殊)			人	

2) 粉体攪拌

187m3当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
普通作業員			人	
バックホウ[クローラ型・超ロング仕様・排対型(1次)]	クローラ型ロング仕様山積0.4(平積0.3)		供用日	
攪拌混合機	深度0.5～2.0m		供用日	
軽油	ハトロール給油		L	
運転手(特殊)			人	

※攪拌混合機の供用日あたり損料を記載願います。

濁水処理対策

1) 中和処理施設設置 6m3/hr級

1式当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
電工			人	
機械工			人	
普通作業員			人	
雑品			%	
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	4.9ton吊り		日	

2) 中和処理施設撤去 6m3/hr級

1式当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
電工			人	
機械工			人	
普通作業員			人	
雑品			%	
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	4.9ton吊り		日	

3) 中和処理 6m3/hr級(1.4kW) 発動発電機の場合

1日当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
アルカリ水中和装置	処理量6m3/h級		日	
水中ポンプ	2インチ		日	
発動発電機運転	25kVA		日	

※アルカリ水中和装置の日あたり損料(賃料)を記載願います。

法覆護岸工

法面整形

1) 法面整形(盛土部)

100m2当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
普通作業員			人	
バックホウ[クローラ型・超ロング仕様・排対型(1次)]	クローラ型ロング仕様山積0.4(平積0.3)		供用日	
軽油	パトロール給油		L	
運転手(特殊)			人	

2) 法面整形(切土部)

100m2当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
普通作業員			人	
バックホウ[クローラ型・超ロング仕様・排対型(1次)]	クローラ型ロング仕様山積0.4(平積0.3)		供用日	
軽油	パトロール給油		L	
運転手(特殊)			人	

覆土工

1) 水路内覆土

100m3当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
バックホウ[クローラ型・超ロング仕様・排対型(2次)]	クローラ型ロング仕様山積0.4(平積0.3)		供用日	
軽油	パトロール給油		L	
運転手(特殊)			人	

2) 法肩覆土

100m2当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
普通作業員			人	
諸雑費			%	

コンクリートブロック工

1) コンクリートブロック張(撤去) 500mm×500mm、t=100mm、既設利用

10m2当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
普通作業員			人	

水田復旧工

1) 水叩き設置 吸水防止シート、ヤシ繊維、t=100mm、A=500mm×500mm

1箇所当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役			人	
普通作業員			人	

運搬費

1) 重建設機械分解・組立・輸送 地盤改良攪拌混合機(改良深2.0m迄)

1台当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
分解・組立(重建設機械)	攪拌混合機(ベ-スマシ ン バ-クホウ超ロング)賃料機械長割なし	1	台	
輸送費(特殊機械)	4ton車,10kmまで	2	台	往復分
輸送時損料(重建設機械)往路・復路	攪拌混合機(ベ-スマシ ン バ-クホウ超ロング仕様)	1	式	

1-1) 分解・組立(重建設機械)

1台当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
【積込】				
特殊作業員			人	
雑品			%	
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	25ton吊り		日	
バックホウ[クローラ型・超ロング・排対(1次)](分解組立輸送時)	山積0.4m3(平積0.3m3)(ベ-スマシ(改造費含む))		供用日	
攪拌混合機(分解組立輸送時)	改良深度0.5m以上、2.0m以下		供用日	
【積卸】				
特殊作業員			人	
雑品			%	
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	25ton吊り		日	
バックホウ[クローラ型・超ロング・排対(1次)](分解組立輸送時)	山積0.4m3(平積0.3m3)(ベ-スマシ(改造費含む))		供用日	
攪拌混合機(分解組立輸送時)	改良深度0.5m以上、2.0m以下		供用日	
【組立】				
特殊作業員			人	
雑品			%	
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	25ton吊り		日	
バックホウ[クローラ型・超ロング・排対(1次)](分解組立輸送時)	山積0.4m3(平積0.3m3)(ベ-スマシ(改造費含む))		供用日	
攪拌混合機(分解組立輸送時)	改良深度0.5m以上、2.0m以下		供用日	
【解体】				
特殊作業員			人	
雑品			%	
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	25ton吊り		日	
バックホウ[クローラ型・超ロング・排対(1次)](分解組立輸送時)	山積0.4m3(平積0.3m3)(ベ-スマシ(改造費含む))		供用日	
攪拌混合機(分解組立輸送時)	改良深度0.5m以上、2.0m以下		供用日	

1-2) 輸送費(特殊機械)片道 4ton車,10kmまで

1台当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
運賃料金	4ton車 10km以下		台	

※1台あたりの運賃料金を記載願います。

1-3) 輸送時損料(重建設機械)往路・復路 攪拌混合機(ベ-スマシ バックホウ超ロング仕様)

1式当たり

工種・名称	規 格	数 量	単 位	備 考
バックホウ[クローラ型・超ロング・排対(1次)](分解組立輸送時)	山積0.4m3(平積0.3m3)(ベ-スマシ(改造費含む))		供用日	
攪拌混合機(分解組立輸送時)	改良深度0.5m以上、2.0m以下		供用日	
バックホウ[クローラ型・超ロング・排対(1次)](分解組立輸送時)	山積0.4m3(平積0.3m3)(ベ-スマシ(改造費含む))		供用日	
攪拌混合機(分解組立輸送時)	改良深度0.5m以上、2.0m以下		供用日	

見積参考図面

標準断面図 (2/3)

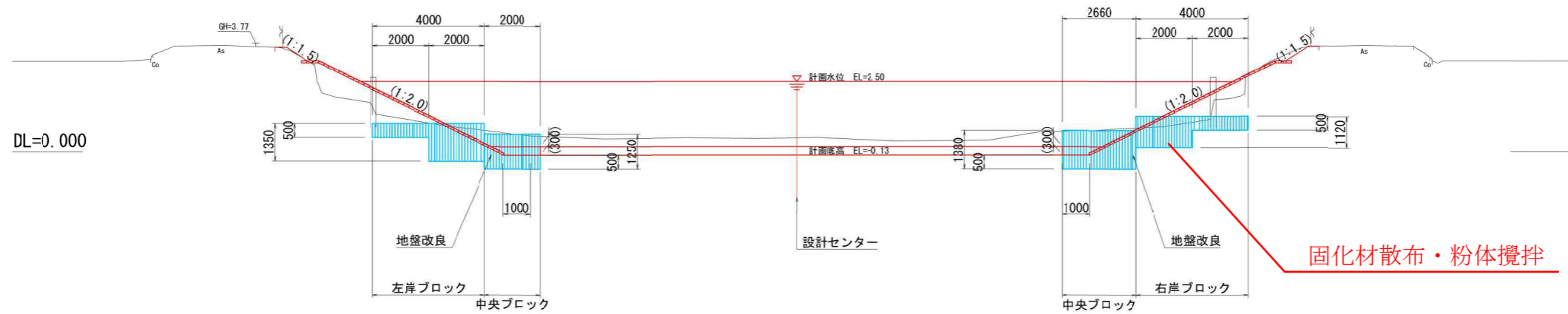
S=1:100

地盤改良標準断面図

No. 54+48.00~No. 56+87.50
No. 56+87.50~No. 57+98.00
No. 59+13.00~No. 61+55.00
No. 61+55.00~No. 63+27.50

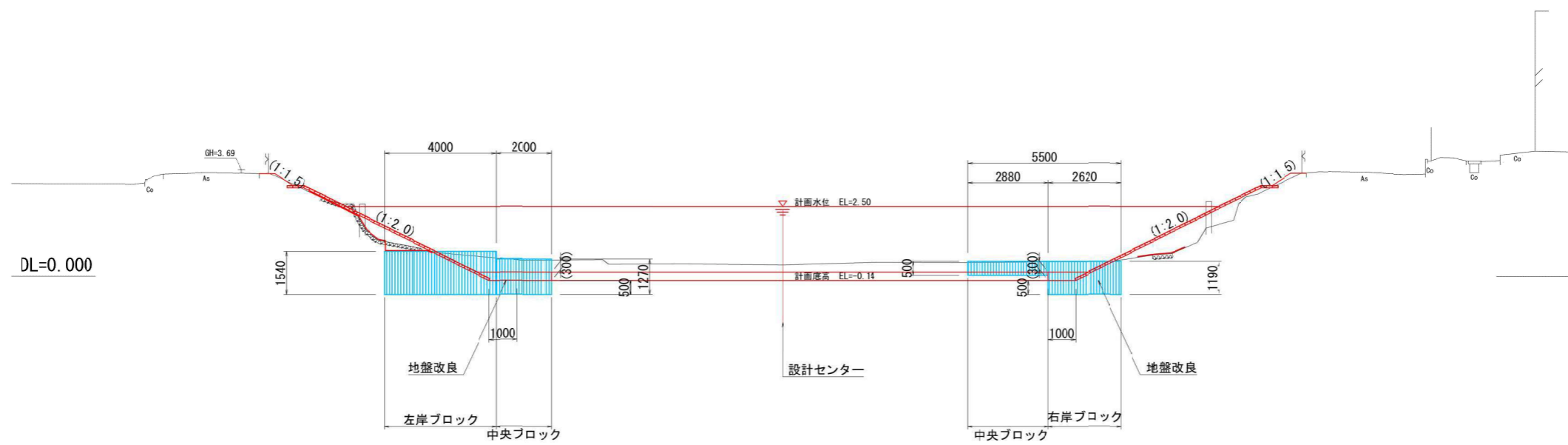
注意事項

- 適用
この図面は〇〇工事に適用する。
- 単位
測点・標高はm単位で示し、
造寸法は特に示さない限り
mm単位で示す。



地盤改良標準断面図

No. 57+98.00~No. 59+13.00

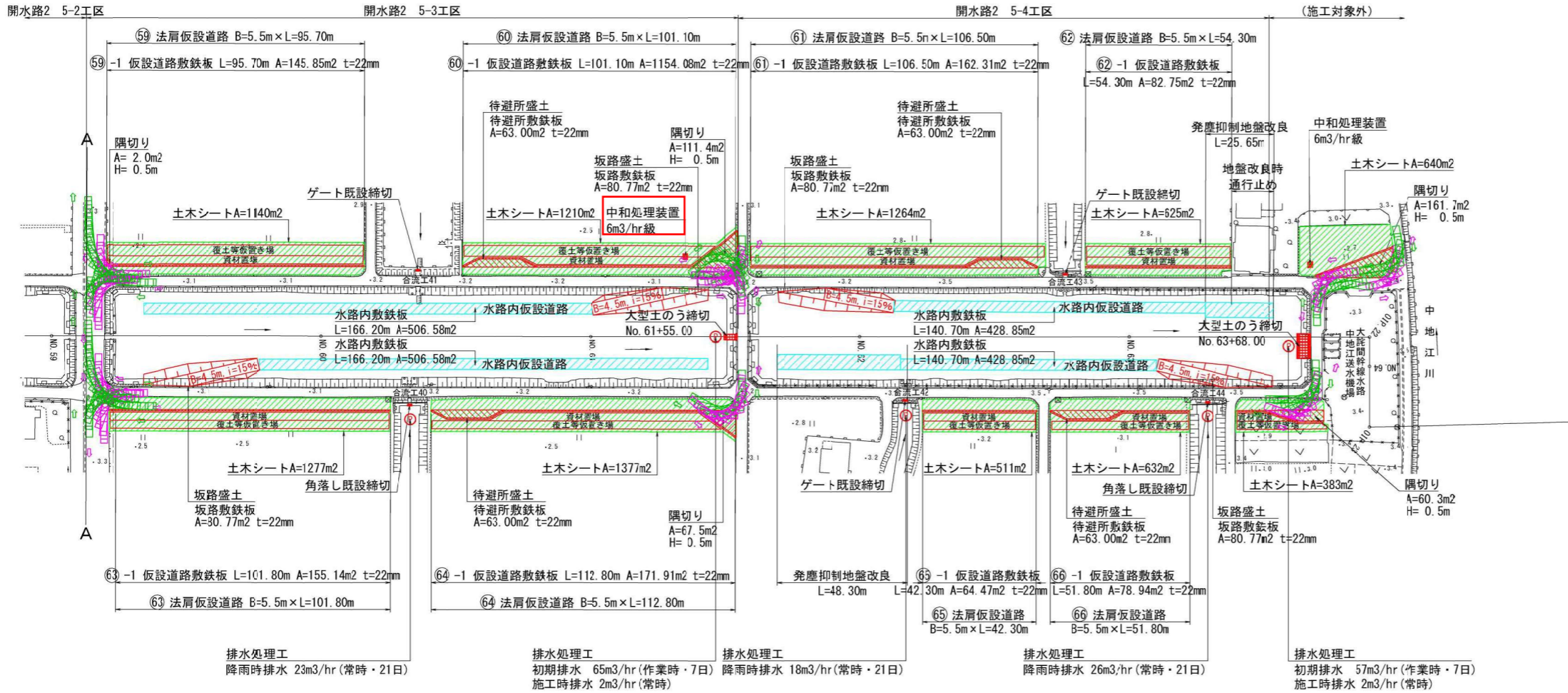


業務名	総合対策大規模幹線水路横武地区外防災対策実施設計業務		
名称	開水路2	標準断面図 (2/3)	S=1:100
登録番号		整理番号	3 - 2/3
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流総合管理所			

仮設計画平面図 (2/4)

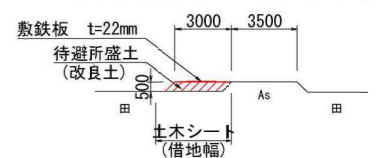
S=図示

平面図
S=1:1000

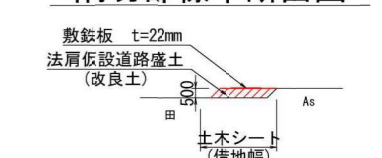


- 注意事項
- 適用
この図面は〇〇工事に適用する。
 - 単位
測点・標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
 - 耕地復旧範囲
土シートの設置範囲について、耕地復旧(耕起)を行う。
 - 地盤改良時通行止め
5-4工区左岸側の家屋のある区間の法先の地盤改良を行う際は、必要安全率確保のため、法肩道路を通行止めとする。

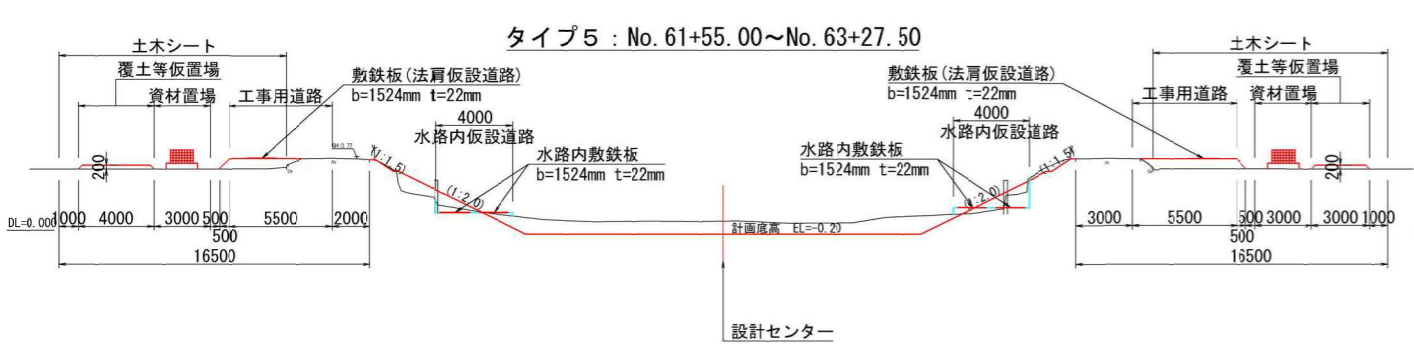
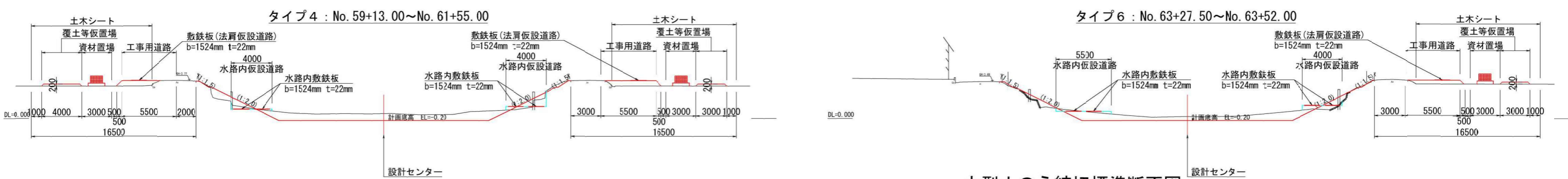
待避所標準断面図



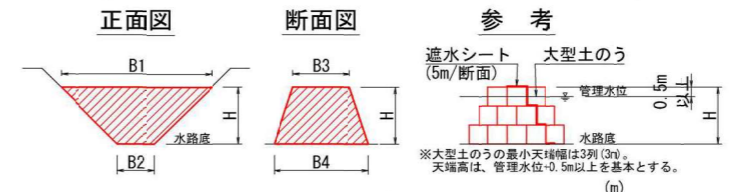
隅切り部標準断面図



標準断面図
S=1:200



大型土のう締切標準断面図 S=1:100

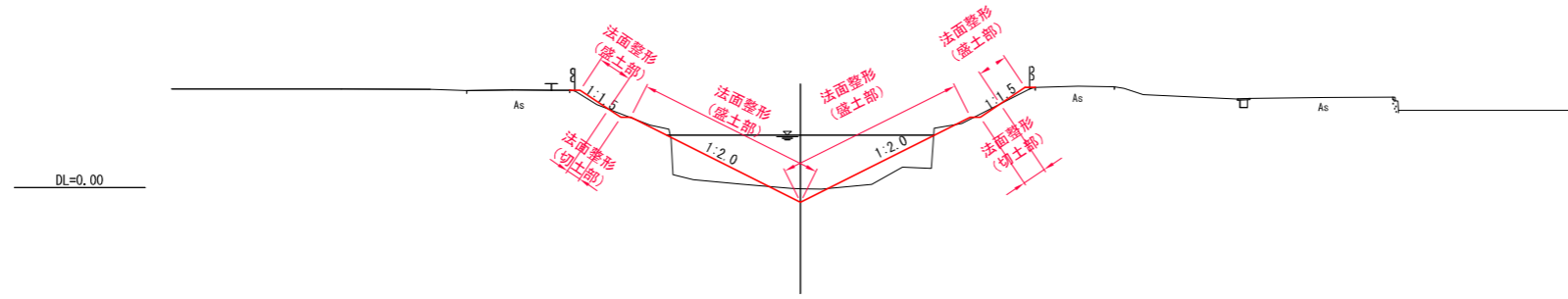


測点	B1	B2	B3	B4	H	備考
Nc. 54+48.00	1.9	1.9	3.0	5.0	2.3	
Nc. 56+87.50	2.1	2.1	3.0	5.0	2.3	
Nc. 59+13.00	2.2	2.2	3.0	5.0	2.3	
Nc. 61+55.00	2.0	2.0	3.0	5.0	2.3	
Nc. 63+68.00	8.5	8.5	3.0	5.0	3.6	

業務名	総合対策大規模幹線水路横武地区外防炎対策実施設計業務		
名称	開水路2 仮設計画平面図 (2/4)		
登録番号	整理番号	S=図示 参1-2/4	
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流総合管理所			

横断図 S=1:100

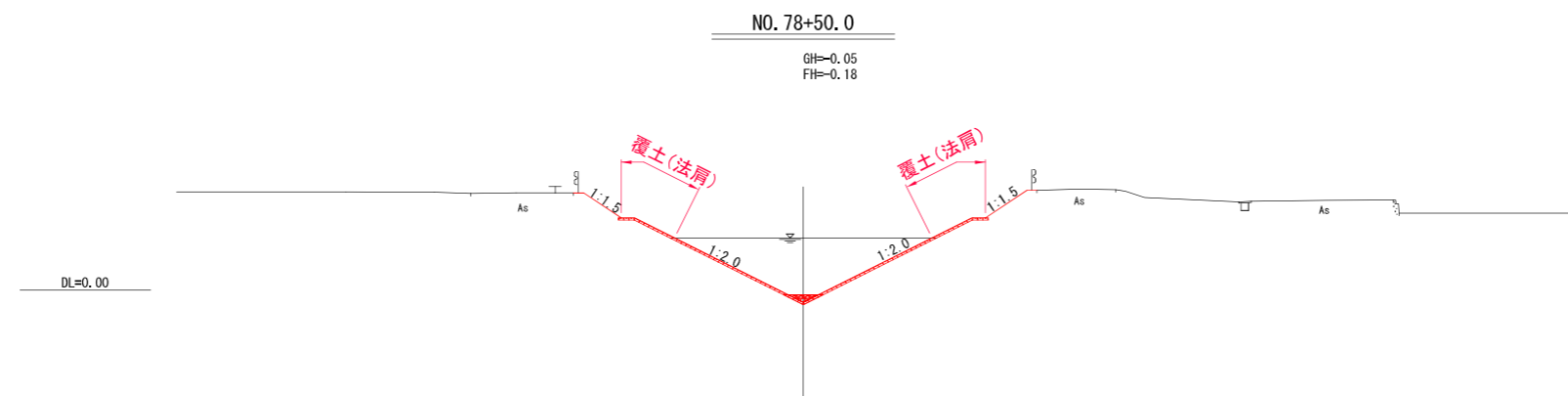
法覆護岸工
法面整形



工事名	
名称	横断図
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流用水事業所	

横断図 S=1:100

覆土工
法肩覆土



工事名	
名称	横断図
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流用水事業所	

撤去復旧構造図

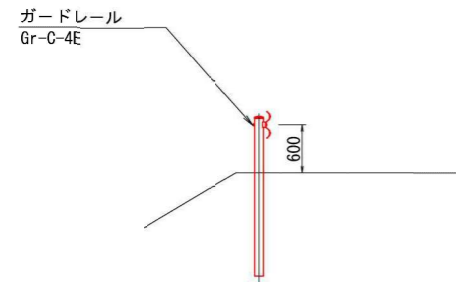
S=図示

注 意 事 項

- 適用
この図面は〇〇工事に適用する。
- 単 位
測点・標高はm単位で示し、
寸寸法は特に示さない限り
mm単位で示す。

ガードレール撤去復旧図 (流用)

S=1:50

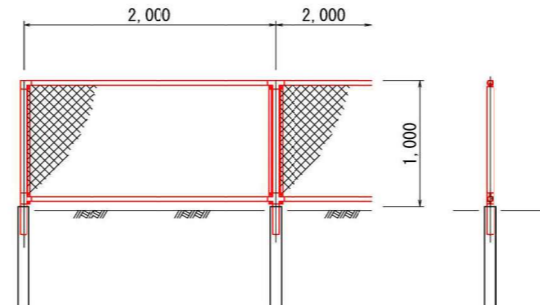


ガードレール復旧一覧表 (m)

設計区間	工区名	区 間	名 称	左岸	右岸	備 考
開水路2	5-1工区	No. 54+48.00~No. 56+87.50	Gr-C-4E	215.3	213.9	
"	5-2工区	No. 56+87.50~No. 59+13.00	"	192.6	192.6	
"	5-3工区	No. 59+13.00~No. 61+55.00	"	211.0	209.5	
"	5-4工区	No. 61+55.00~No. 63+52.00	"	184.1	184.0	

金網・支柱 (立入防止柵) 撤去復旧図 (流用)

鋼管基礎型, H=1000 S=1:30

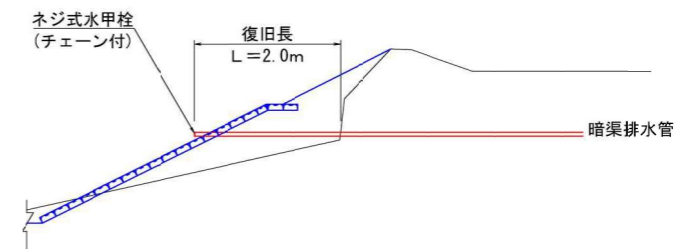


金網・支柱 (立入防止柵) 撤去復旧図一覧表 (m)

設計区間	工区名	区 間	左岸	右岸	備 考
開水路2	5-4工区	No. 61+55.00~No. 63+52.00	74.6	164.6	鋼管基礎

暗渠排水工復旧図

S=1:50



暗渠排水工撤去復旧一覧表 (本)

設計区間	工区名	区 間	タイプ	復旧材料	規格	左岸	右岸	備 考
開水路2	5-2工区	No. 56+87.50~No. 59+13.00	タイプ1	塩ビ管	VUφ300	-	1	

舗装復旧図

S=1:10

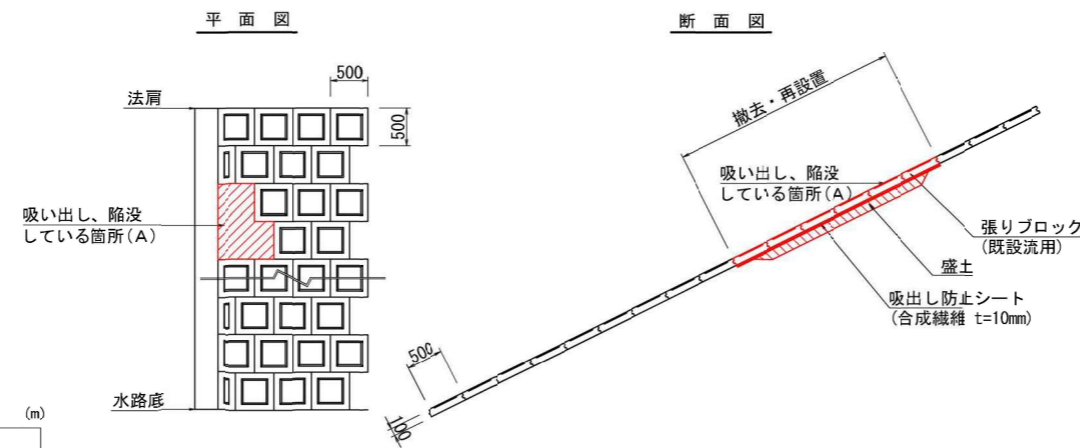


舗装復旧一覧表 (m)

設計区間	工区名	区 間	規 格	左岸	右岸	備 考
開水路2	5-1工区	No. 54+48.00~No. 56+87.50	As B=3.4m	232.4	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	231.9	
"	5-2工区	No. 56+87.50~No. 59+13.00	As B=3.4m	225.5	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	225.5	
"	5-3工区	No. 59+13.00~No. 61+55.00	As B=3.4m	242.0	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	242.0	
"	5-4工区	No. 61+55.00~No. 63+52.00	As B=3.4m	198.6	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	198.3	

コンクリートブロック張り復旧図

S=1:50



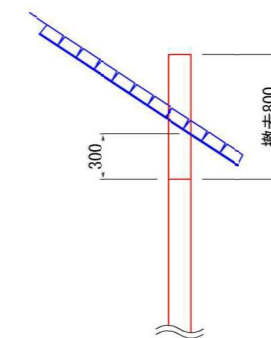
コンクリートブロック張り復旧一覧表 (m2)

設計区間	工区名	区 間	左岸	右岸	備 考
開水路2	5-1工区	No. 54+48.00~No. 56+87.50	13.3	11.4	
	5-2工区	No. 56+87.50~No. 59+13.00	8.3	5.6	
	5-3工区	No. 59+13.00~No. 61+55.00	8.7	12.0	
	5-4工区	No. 61+55.00~No. 63+52.00	3.5	8.5	

木柵撤去詳細図

S=1:25

木柵 (1列タイプ)



木柵撤去一覧表 (m)

設計区間	工区名	区 間	左岸	右岸	備 考
開水路2	5-1工区	No. 54+48.00~No. 56+87.50	105	-	

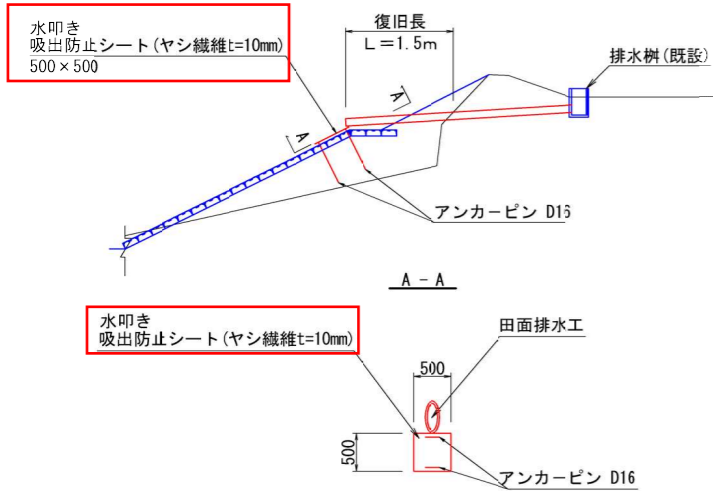
耕地復旧工
水田復旧工
水叩き設置

撤去復旧構造図

S=図示

田面排水工復旧図

S=1:50

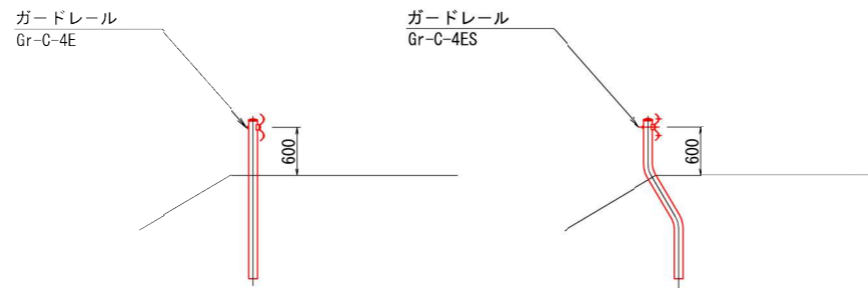


田面排水工撤去復旧一覧表 (本)

設計区間	工区名	区間	タイプ	復旧材料	規格	左岸	右岸	備考
開水路1	1-1工区	No. 21+43.30~No. 25+71.00	タイプA	塩ビ管	VUφ150	6	2	

ガードレール撤去復旧図(流用)

S=1:50



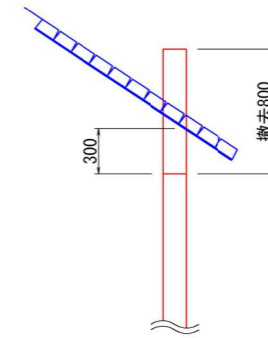
ガードレール復旧一覧表 (m)

設計区間	工区名	区間	名称	左岸	右岸	備考
開水路1	1-1工区	No. 21+43.30~No. 25+71.00	Gr-C-4E	399.4	95.5	
"	2工区	No. 25+71.00~No. 30+86.00	"	437.4	128.0	
"	"	"	Gr-C-4ES	-	413.0	
"	1-2工区	No. 30+86.00~No. 33+41.93	Gr-C-4E	160.0	53.0	
"	"	"	Gr-C-4ES	-	200.2	

木柵撤去詳細図

S=1:25

木柵(1列タイプ)

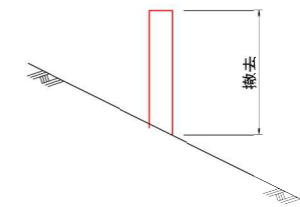


木柵撤去一覧表 (m)

設計区間	工区名	区間	左岸	右岸	備考
開水路1	2工区	No. 25+71.00~No. 30+86.00	85	244	
"	1-2工区	No. 30+86.00~No. 33+41.93	35	170	

松杭・コースロープ撤去詳細図

S=1:25



松杭撤去一覧表 (m)

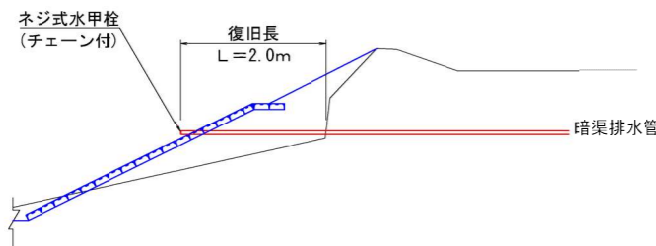
設計区間	工区名	区間	左岸	右岸	備考
開水路1	2工区	No. 25+71.00~No. 30+86.00	30	12	

コースロープ撤去一覧表 (m)

設計区間	工区名	区間	左岸	右岸	備考
開水路1	2工区	No. 25+71.00~No. 30+86.00	195	67	

暗渠排水工復旧図

S=1:50

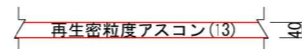


暗渠排水工撤去復旧一覧表 (本)

設計区間	工区名	区間	タイプ	復旧材料	規格	左岸	右岸	備考
開水路1	1-1工区	No. 21+43.30~No. 25+71.00	タイプ1	塩ビ管	VUφ50	23	6	

舗装復旧図

S=1:10

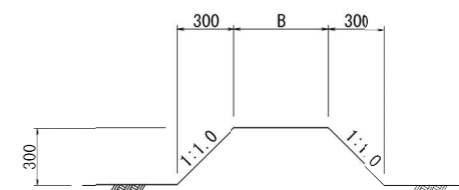


舗装復旧一覧表 (m)

設計区間	工区名	区間	規格	左岸	右岸	備考
開水路1	1-1工区	No. 21+43.30~No. 25+71.00	As B=3.5m	316.6	-	
"	"	"	As B=3.4m	128.3	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	112.4	
"	2工区	No. 25+71.00~No. 30+86.00	As B=3.2m	512.6	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	555.3	
"	1-2工区	No. 30+86.00~No. 33+41.93	As B=3.2m	175.7	-	
"	"	"	As B=1.0m	-	266.0	

畦畔復旧図

S=1:20



畦畔撤去復旧一覧表 (m)

設計区間	工区名	区間	B	左岸	右岸	備考
開水路1	1-1工区	No. 21+43.30~No. 25+71.00	0.9	-	10.2	

注意事項

- 適用
この図面は〇〇工事に適用する。
- 単位
測点・標高はm単位で示し、
寸法は特に示さない限り
mm単位で示す。

業務名	総合対策大幹線幹線水路橋樑武地区外防災対策実施設計業務		
名称	開水路1	撤去復旧構造図	S=図示
登録番号		整理番号	6
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流総合管理所			